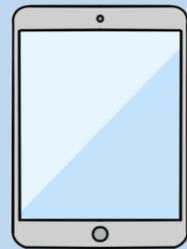


札幌北陵高校では、iPadによる 生徒1人1台端末を活用した 新たな学びを推進します!



今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、これからの時代を生きる子供たちにとって、パソコンやタブレット端末は、筆記用具やノートと並ぶマストアイテムであり、社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げるために必要不可欠なものとなっています。

北海道教育委員会は、道立高校においてBYOD(個人所有の端末を学校に持ち込んで利用する形態)による1人1台端末制度を令和4年度から実施することを決定し、各校においてその準備を進めています。

札幌北陵高校ではICTを活用した授業および探究活動を実施しております。また今年4月から高速大容量の通信ネットワークの利用が始まり、これまでの活動に加え、分散登校時における授業のライブ配信や北陵祭でのクラスMovieの発表など、校内生活のあらゆる場面でICTを活用した教育活動を実施しております。

これまで得られたノウハウをもとに、令和4年度入学生からiPadを活用した教育活動を推進し、学びの方法がさらに広がります。

今後、[本校が推奨するiPad端末を各家庭で購入していただき](#)、生徒1人1台端末の環境を整備していくこととしておりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「1人1台端末」の活用により、このような学びが実現します



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習



1人1人の習熟の程度等に応じた学習



インターネットを用いた情報収集、画像や動画等による記録



複数の意見・考えを議論して整理



1人1台端末を活用した家庭学習、オンライン授業



グループでの分担、協同による作品の制作

札幌北陵高校におけるICT活用の取り組み(一部紹介)

1年生対象のICTオリエンテーション

入学後、すぐにICTオリエンテーションを実施します。

このオリエンテーションでは、校内アクセスポイントへの接続や、授業や学校生活で使用するクラウドサービスへのログイン、設定、アプリの使い方、校内で使用する際のルールを、ICT担当の先生が説明します。



授業におけるICTの活用

現在、札幌北陵高校では生徒自身が所持している端末（スマートフォン）を学習活動で活用しております。端末は各教室に設置された無線アクセスポイントに接続し、先生の指示で端末を活用します。



事例1 英語表現Iの授業での活用事例

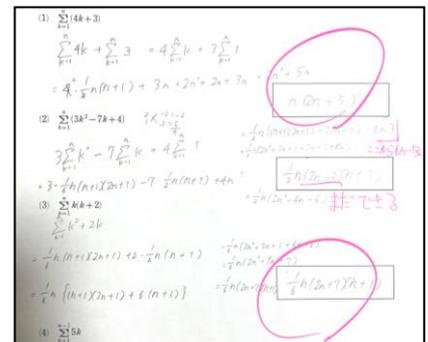
スクリプトを読み、賛成・反対の立場を明らかにした上で、グループで共有されたデジタルホワイトボード上にその理由を書いた付箋を貼っていきます。この授業では各自のスマートフォンの他に、学校で用意した端末を各グループ1台ずつ貸出して協同で作業する取り組みも行いました。



事例2 ICTを利用した課題の提出と添削・返却

生徒は配布された課題に取り組み、成果をスマートフォンで画像を提出します。先生はタブレット端末で確認・添削し、すぐに返却されます。生徒は返却された画像を見て問題を解き直し、再度添削を受けます。

(これらの事例は本校の一部の授業で実施しています)



探究活動におけるICTの活用

本校では総合的な探究の時間においてもICTを活用した探究活動を行っています。

グループ研究では、研究テーマに関する調査や資料の整理、発表で使用するスライドの作成といった一連の流れにおいてICTを活用しています。

(写真は過年度のもので)

